

ミッションを掲げ、多様な価値観を受け入れていく 多様性のある職場づくり

2023年のブランディングセッションのテーマを「社会課題」とし、これまで「1月：気候変動」「4月：高齢化」「7月：値上げ」を取り上げてきました。10月のテーマの検討に際し、会員から寄せられた声は「**人材の多様性**」です。

業績を伸ばし、事業を継続させるための資源を経営資源と呼び、「**ヒト、モノ、カネ、情報**」の4つが挙げられます。モノとカネと情報は、ヒトが活用することで資源になります。ということは、**最も重要な経営資源は「ヒト」**です。

しかし、程度の差こそあれ、多くの企業が「**人材の採用、定着、成長**」に頭を悩ませています。また、コロナの感染拡大により浮き彫りとなった**価値観の変化や働き方の多様性**も横たわっています。

これまでとは違う価値観や働き方を認めることは、ときには社内に衝突や軋轢を発生させます。**企業側が理想とするひとつの型に、社員を無理矢理押し込めようとするやり方は、すでに過去のもの**となりつつあるのを感じます。

今回のゲストは、**京都精華大学の前学長**であり、不確実で多様な世界の働き方について多くの著書を出されている**ウスビ・サコさん**です。ご自身のご経験を踏まえ、**中小企業が多様性を受け入れていくポイント**をご講演いただきます。

ゲスト講師 京都精華大学 前学長／全学研究機構長
ウスビ・サコ氏



10月24日 火 16:00～18:00
(2時間開催)

◆参加費：**3,000円** (税込)

◆参加方法：**Zoomによるオンライン開催**

開始15分前からZoomに接続できるようにしております

●Zoomを初めて利用される方は簡単なセットアップが必要となります

※Wi-Fi環境など、高速通信が可能な電波の良い所からご参加ください。視聴にかかる通信料はご負担ください

〈プロフィール〉

京都精華大学 前学長／全学研究機構長／人間環境デザインプログラム 教授 マリ共和国生まれ。国費留学生として北京語言大学、南京東南大学で学ぶ。

1990年、東京で短期ホームステイを経験し、マリに共通するような下町の文化に驚く。91年来日、99年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士(工学)。専門は空間人類学。「京都の町家再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究している。

京都精華大学人文学部教員、学部長を経て2018年4月同大学学長に就任(～2022年3月)を経て現職。暮らしの身近な視点から、多様な価値観を認めあう社会のありかたを提唱している。

主な著書に『これからの世界』を生きる君に伝えたいこと(大和書房)、『アフリカ出身 サコ学長、日本を語る』(朝日新聞出版)など。2025年日本国際博覧会協会副会長・理事・シニアアドバイザー兼任他。



- 15:45 入室開始 ●16:00～ テーマ説明
- 16:05～17:05 ウスビ・サコさん講演
- 17:10～17:55 フリーディスカッション
- 17:55～18:00 次回予告

◆お申し込みはQRコードでPeatixの参加申し込みフォームを開き、下記をご入力ください。

- ・お名前(必須) ・会社名/その他(必須)
- ・E-mail(必須)
- ・ウスビ・サコさんへのご質問(任意)



主催



株式会社 **クエストリー**

〒113-0022
東京都文京区千駄木2丁目36-7-103号
TEL: 03-5148-2508
E-mail: info@questory.co.jp
HP: https://questory.co.jp